

福岡県議会議員 くにひこ 吉武邦彦

編集：発行：〒811-3431 福岡県宗像市田熊4丁目4-35 力丸ビル101号 吉武邦彦事務所

2012年1月
県政報告 (緑友会福岡県議団)
 あなたの声を県政に活かす。
KUNIHICO LETTER
 2011春～冬までの活動報告



「宗像沖ノ島と関連遺産群」について質問をさせて頂きましたが、議論のやりとりの難しさを改めて痛感した次第です。また、常任委員会は、宗像の基幹産業でもある農業、漁業の振興に強い思いがあり、農林水産委員会に所属し、新人では稀

く施政方針を述べられました。はじめての議会質問では小川知事に「宗像沖ノ島と関連遺産群」について質問をさせて頂きましたが、議論のやりとりの難しさを改めて痛感した次第です。また、常任委員会は、宗像の基幹産業でもある農業、漁業の振興に強い思いがあり、農林水産委員会に所属し、新人では稀

お世話になります。よしたけ邦彦です。皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新年のご挨拶

な副委員長も拝命しました。就任以来、議会の規定や特有の慣習に戸惑いながらも、新発見と刺激に誘発された政治活動を経験させていただいているのが現在の状況であります。県政の中で、宗像をよりよくしていくことが福岡県の発展に大きく貢献していくことを肝に銘じて、正々堂々と形にしていくことを最重視した力をつけていきたいと考えています。二年目の私の活動は、政治活動と並んで後援会活動を充実させます。できるだけ多くのみなさまから、ひざ詰めでご意見やご要望をお聞かせいただきながら、私の考えや議会活動を知っていただく場を数多く設けていただき、併せてよしたけ邦彦後援会の充実を進めていただきたいと思います。今一度、みなさまのご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。最後に、今年の干支に因み「日の出の勢いの青龍のごとく、エネルギーに駆け昇ります」



緑友会福岡県議団

- 神崎聡県議 (田川郡)
- 吉武邦彦
- 江口善明県議 (久留米市)
- 出利葉史郎県議 (うきは市)
- 重野正敏県議 (八女市)
- 林裕二県議 (朝倉市・朝倉郡)

福岡県議会は、5人以上の議員で構成される「主要4党派」と1人会派3人で構成されています。会派とは、議会のなかの政党です。「主要4党派」とは、①自由民主党福岡県議団44人、②民主党福岡県議団22人、③公明党福岡県議団11人、④緑友会福岡県議団6人のことです。私は、山田県議の後継者と

して山田県議が所属されていた緑友会に所属しました。緑友会とは、農政連など農業団体と関係が深い会派です。「食と緑を守る」をスローガンに農業・農村の振興と県土の均衡ある発展を基本理念としています。個人的には会派のスローガンに「海」を加え「食と緑と海を守る」をテーマに活動しています。

会派は「緑友会福岡県議団」
 委員会は「農林水産委員会 (副委員長)」
 「国際交流推進対策調査特別委員会」
 に所属しました。

議会では、条例の制定・改廃、予算及び決算の審議、教育委員などの人事の同意、住民からの請願や陳情の処理などを行っています。活力ある福岡県づくりのため東奔西走しています。4月から11月までの主な足取りを写真で紹介しします



7月：6月議会で初めての一般質問。世界遺産登録運動と雇用の場について質問しました。(詳細は2ページ)



9月議会：利用者が激減している「玄海の家」の対応策。将来像について質問しました。(詳細は3ページ)



6月議会 予算特別委員会



10月：旧国立神戸移民収容所視察 (兵庫県)



9月：農林水産委員会管内視察 (鐘崎漁港) 地元視察は、地元PRの絶好の機会。宗像の長所や問題点をしっかりと伝えました。



11月：東日本大震災被災地視察 (宮城県東松山町役場)

東奔西走

PHOTO REPORT



11月：日中友好議連訪中 (早朝の天安門広場)



11月：福岡県文化議員連盟で幸福度ランキング第3位の石川県金沢に視察・研修に行っていました。職人大学や文化ホールをはじめ武家屋敷跡などを訪問。地域文化に誇りを持った人々の笑顔が心に残りました。技術や知識、文化の継承は日々の積み重ねです。



11月：赤間西コミセン文化祭



12月：TPPと日本経済についての勉強会で講師の慶應大学金子教授と。

事務所を開設しました。 お気軽にお立ち寄りください。

事務所を開設しました。お気軽にお立ち寄りください。平日 9:00~17:00

Tel 0940-37-7722
Fax 0940-37-7723

<ご案内>
 昨年の12月議会で代表質問を行いました。質問事項など詳細は次号でご報告致します。

〒811-3431 福岡県宗像市田熊4丁目4-35 力丸ビル101号
<http://www.foryou-kai.jp>

吉武邦彦 検索

「活力と成長に満ちた活発な経済活動」と「十分な雇用の確保」に観光施策の推進を。誇れる郷土づくりの礎となる沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録に向けた県の取り組みについて質問しました。

活力ある福岡県づくり、にぎわいのあるまちづくり、元気な県民づくりのため、質問と要望を行いました。

低迷する経済、東日本大震災、迷走する政治と困難が続いています。このような状況のなか、小川県知事の復興スローガン「元気は西からまず、福岡県を元気にしたい」に呼応し、「活力と成長に満ちた活発な経済活動」と「十分な雇用の確保」が必要であることを県政の場で訴えました。

世界遺産登録を目指している「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の現状と県の取り組み状況は

問

世界文化遺産登録構成資産は、まだ流動的だと受けとめていますが、最終的な構成はどのような形で、いつ決まり、ユネスコ世界遺産委員会への推薦書提出はいつ頃と見込まれますか？

答

世界遺産として登録をされるためには、第一に顕著な普遍的な価値を有すること、

第二に完全性と真正性を満たすこと、三番目に適切な保護管理が行われること、そういったことが要件になっています。これらの要件に適合する構成資産というものを選定する必要があります。この構成資産については、専門家による意見を踏まえ、経済団体、市民団体、行政等で構成している「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議で決定することになっています。拙速を避け、じっくりとした議論を踏まえながら、早ければ平成二十六年年度に推薦書を提出できるように進めてまいりたいと思います。

構成資産を保護するために、その周囲に設けられます利用制限区域（バッファゾーン…緩衝地帯）に関することは今後の検討課題です。世界遺産としての価値を将来にわたって継承していくための法的措置、管理計画の立案などが必要となります。このため具体的に景観の確保でありますとか、建築物の意匠や高さの制限、規制といったことが考えられます。沖ノ島周辺の海上に関わる緩衝地帯（バッファゾーン）については、漁業に影響を与えないように、関係機関と連携して、地域への情報提供と地域からの意見聴取を行いながら、必要な範囲の設定と、取るべき措置の内容を検討していきたいと考えています。

第二に完全性と真正性を満たすこと、三番目に適切な保護管理が行われること、そういったことが要件になっています。これらの要件に適合する構成資産というものを選定する必要があります。この構成資産については、専門家による意見を踏まえ、経済団体、市民団体、行政等で構成している「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議で決定することになっています。拙速を避け、じっくりとした議論を踏まえながら、早ければ平成二十六年年度に推薦書を提出できるように進めてまいりたいと思います。

問

沖ノ島周辺は、玄界灘を代表する好漁場です。沖ノ島を代々守ってきた漁業者にとって世界遺産登録がデメリットとならないような形で進めていくべきです。漁業への影響を与えない配慮を求めます。構成資産を守るためにバッファゾーン（緩衝地帯）は、どのような範囲で設定され、どのような制約が予想されますか？

沖ノ島を守ってきたのは漁業者。漁業に影響を与えない配慮を願います。

答

構成資産を保護するために、その周囲に設けられます利用制限区域（バッファゾーン…緩衝地帯）に関することは今後の検討課題です。世界遺産としての価値を将来にわたって継承していくための法的措置、管理計画の立案などが必要となります。このため具体的に景観の確保でありますとか、建築物の意匠や高さの制限、規制といったことが考えられます。沖ノ島周辺の海上に関わる緩衝地帯（バッファゾーン）については、漁業に影響を与えないように、関係機関と連携して、地域への情報提供と地域からの意見聴取を行いながら、必要な範囲の設定と、取るべき措置の内容を検討していきたいと考えています。

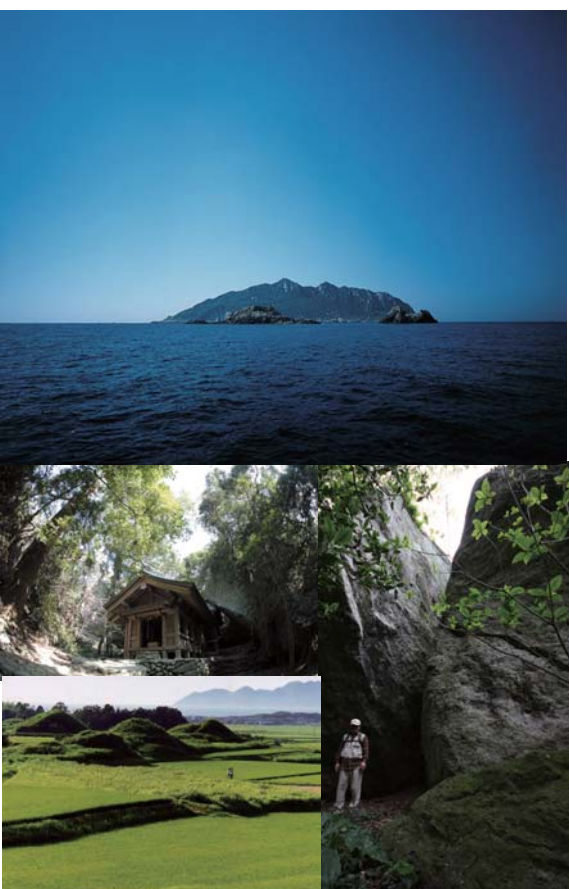
問

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議の取り組みが、多数の県民にはよく見えないように感じます。九州・山口近代化産業遺産群はテレビや新聞でよく取り上げられているのに比べて、沖ノ島は県民への周知が十分ではないのではないのでしょうか。今後どのような世界遺産登録運動を展開していくお考えですか？

答

世界遺産に登録を受けるためには、さまざまな条件整備をしていきながら、県民運動としての機運を醸成していく取り組みが必要です。

このため、シンポジウムの開催、ポスター等による広報啓発のほか、地域の市民の皆様による公開講座やパネル展、市民参加型のミュージカル「むなかた三女神記」の公演なども行われています。今後も、我々は森口博子さんや藤本隆宏さんといった本県出身の芸能人に応援大使をお願いしており、こういった応援大使の活用を初めとして、ホームページによる市民団体の熱心な取り組みの紹介など、官民一体となった世界遺産登録運動というものを、これからも展開していきたいと考えています。



沖ノ島と関連遺産群を世界遺産に。世界に向けた運動も必要ですが、圏内・地域内に向けたPR活動も不可欠。地に足を着けた地道で分かりやすい活動を望みます。

●9月議会 一般質問

次世代を担う青少年の育成の場である 県営施設「玄海の家」はハード面の改修 ソフト面の充実が必要ではないか。

「少年自然の家玄海の家」の有効活用のため、将来計画を質問しました。また、元気な県民づくりの礎となる宗像市の「住宅施策」について質問しました。

9月議会的一般質問では、地元宗像にある県営施設「少年自然の家玄海の家」について質問しました。活力ある福岡県づくりのためには「次世代を担う青少年の育成」は欠かすことができません。「玄海の家」は、青少年の研修や体験学習の拠点になり得る潜在能力を持ち、発展性を秘めているにもかかわらず、その存在が忘れられているのではないかと、このままでは、福岡県民にとっても宗像市民にとっても大きな損失だという思いで県の姿勢を問いました。また「元気な県民づくり」のため、その礎となる「住宅施策」に対する県の考えを問いました。

利用者が激減しているが、その原因は何か？ 今後の対策は？

問

宗像市にある「少年自然の家玄海の家」について、①教



地域との密接な交流、連携を図りながら、新たな共同事業独自のプログラムの開発などが望まれる玄海の家。

育関係施策の中でどのような役割を担っているのか。②中学生や少年団体をはじめ利用者が減った原因をどうとらえていますか。③また、利用者減少を阻止するためにどのような取り組みを行っているのでしょうか。④老朽化対策のための大規模改修も必要ですが、利用者ニーズを満たすための施設機能の充実や変更は、どう取り組まれてきたのですか。

答

（杉光誠教育長）近年、利用者数が減ってきております主な要因については、利用団体数や団体規模の縮小など少子化の影響のほか、施設設備の老朽化や近隣の類似施設との競合などもあると考えています。このため、利用促進に向けては、体験活動のプログラムの充実とか、学校等への広報啓発活動を行うとともに、要望が多かった食事のバイキング形式の導入等を行ってきました。

また、施設機能の充実に関しては、利用者のニーズを踏まえながら、エアコンや浴槽の改修、野外炊飯場の改築など、その利便性の向上を図ってきました。

問

学校を除く青少年団体の施設を利用した活動は、基本的には学校が休みの日となります。玄海の家は、海に面した施設であることから冬場は閑散期となる特性があるにもかかわらず、社会教育総合センターや英彦山青年の家とは異なり、祝祭日が休所日となっています。どのような理由でこのような規定になっているのでしょうか。また今後、施設の利用促進の観点を見直す考えがありますか。

学校を除く青少年団体の施設を利用した活動は、基本的には学校が休みの日となります。玄海の家は、海に面した施設であることから冬場は閑散期となる特性があるにもかかわらず、社会教育総合センターや英彦山青年の家とは異なり、祝祭日が休所日となっています。どのような理由でこのような規定になっているのでしょうか。また今後、施設の利用促進の観点を見直す考えがありますか。

答

（杉光誠教育長）当施設は、昭和四十九年の開所当時、主に平日に小中学校が教育活動で利用することを想定して、学校が行事を行うことがない祝日は、特段の利用希望がない限り休所日としてきました。しかしながら、今日、子供の自然体験活動の充実が求められるとともに、土曜、日曜には青少年団体や社会教育関係者による活発な活動が行われておることもあり、多様な利用者ニーズに適切に対応するため、今後、祝日を開所日とすることに検討していきます。

施設への進入路の改善はできないのか？

問

施設の進入路が民家の狭い道を通行しなければならず、開所当初から大型バスが入りにくい状況にあり、現在、平日は近隣の「道の駅むなかた」に送迎バスを駐車し、徒歩で来所させているのですが、進入路の改善についてはどのように考えていますか。

答

（杉光誠教育長）施設への進入路につきましても、いずれの経路も道幅が狭く、バスの通行は地域住民生活に影響を及ぼすことになることから、現在、大型バスでの施設利用の場合、道の駅むなかたで昇降していただいている状況です。進入路の問題については、利用者の利便性を図る上で課題の一つであるとの認識をしております。今後、その解決に向けて関係機関と協議します。

問

県の教育施策上で玄海の家は、青少年活動拠点施設として何を担っているのですか、また今後の利用促進を図るためにどのような取り組みを強化していくお考えですか。

答

（杉光誠教育長）当施設は、海浜型研修施設として、自然環境の中の野外活動や集団宿泊活動などの体験活動を通して、子供の健全な育成を支援する施設と位置づけています。また、当施設の今後の利用促進を図るため、利用団体等の多様なニーズに対応するための運営を旨とするともに、小中学校、地元自治体、文化、スポーツ施設とのネットワークを構築して、利用目的や新たな課題に対応した体験活動プログラムの開発や、効果的な広報啓発活動に努めます。

望

本県の青少年活動の拠点施設であるという観点から、幾つか要望します。子供たちが主な利用者です。ぜひ、明るい施設づくり、利用者サイドに立った施設運営を行っていただきますようお願いいたします。施設の運営方針の一つに、地域におけるネットワークの形成があります。密接な交流、連携を図りながら、地域の祭りやイベントの活用、新たな共同事業、独自のプログラムの開発を。今回は、指摘と要望にとどめ、玄海の家への応援団の一人として、今後も期待しつつ見守っていきたいと思います。